

- ・付加設置とは、建物に関係なく消火器を付加する必要のあるものをいいます。不明の場合は未記入でかまいません。

安房 太郎

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 aは粉末消火器、bは泡消火器、cは強化滅泡消火器、dは二酸化炭素消火器、eはハロゲン化物消火器及びfは水消火器をいう。また、能力単位C欄は、該当する消火器が設置してある場合に○印で記入すること。

4 付加設置すべき部分がある場合には、各階ごとに、用途の欄にその部分を記入すること。

5 結果の欄には、良否を記入すること。

別記様式第 1

消 火 器 試 験 結 果 報 告 書

実施日 令和 7 年 4 月 2 0 日

実施者

住 所 千葉県館山市北条 6 8 6 番地 1

氏 名 安房 太郎

用 途	(5) 項 イ						構 造	耐火構造で内装制限したもの ☐ その他 ☐							
延べ面積	1 3 0 m ²		必要能力単位		2		緩和対象の消火設備				有 ☐ 無 ☒				
付加設置部分の有無		☒ (少量危険物・指定可燃物・電気設備・ <u>火気使用設備</u>)										無 ☐			
階	用 途	消火器の種別及び個数						能 力 単 位			結 果				
		a	b	c	d	e	f	合計	A	B	C	適応性	設置場所等	標 識	機 器
1	キッチン	1						1	3	7	—	○	○	○	○
2	廊下	1						1	3	7	—	○	○	○	○
合 計		2						2	6	1 4	—				
備 考	付加設置部分：サウナ設備 ABC 1 0 型消火器 1 本														

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
 3 a は粉末消火器、b は泡消火器、c は強化液消火器、d は二酸化炭素消火器、e はハロゲン化物消火器及び f は水消火器をいう。また、能力単位 C 欄は、該当する消火器が設置してある場合に○印で記入すること。
 4 付加設置すべき部分がある場合には、各階ごとに、用途の欄にその部分を記入すること。
 5 結果の欄には、良否を記入すること。

「階」「用途」

・階数、設置する場所の用途を記載します

「消火器の種別及び個数」

・「a」に設置する個数を記載してください。

※「粉末 ABC 消火器 1 0 型」を示しています。

「能力単位」

・「粉末 ABC 消火器 1 0 型」は A = 3、B = 7 という能力単位を持っています。各数値を個数分乗じてください。C は記入しないでください。

「結果」

・設置位置や標識の有無についての結果を記入します。○を記入し、最終的に消防検査で職員が確認します。

「備考」

・必要な特記事項を記入しますが、空欄でかまいません。